| | 工業高等 | | 交 │ 開講年度 │令和06年度 (| | 受業科目 ! | | | |
|---------------------------------|---|--|--|---|---|---|--|--|
| 科目基 | 碰情報 | | | | | | | |
| 科目番号 | 以 以 以 以 に に に に に に に に に に に に に | | | 科目区分 | 専門 / 必修 | | | |
| 授業形態 | | | | 単位の種別と単位数 | 学修単位: | 2 | | |
| 開設学科 | ļ | 環境建 | 設工学専攻 | 対象学年 | 専1 | 専1 | | |
| 開設期 | | 前期 | | 週時間数 | 2 | | | |
| 教科書/勃 | | | 眞「入門建設振動学」(森北出版) | | | | | |
| 担当教員 | | 船戸 慶 | 夏輔 | | | | | |
| 到達目 | | | | | | | | |
| 2. 線形 3. 地震 4. 地震 | 振動系につ 動などの波 時における | いて理解し 動問題につ | 理解し,説明できる。 ,説明できる。 いて理解し,説明できる。 答解析について理解し,説明できる。 | | | | | |
| レーノ | リック | | | 1-34-11 13-1 | | I | | |
| | | | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの | | 未到達レベルの目安 | | |
| 評価項目1 | | | 建設系の振動問題について理解し , 説明できる。 | 建設系の振動問題について理解で きる。 | | 建設系の振動問題についての理解 が困難である。 | | |
| 5亚海頂中2 | | | 線形振動系について理解し,説明 | 線形振動系について理解できる。 | | 線形振動系についての理解が困難 | | |
| 評価項目2 | | | できる。 | | | である。 | | |
| 平価項目 | 13 | | 地震動などの波動問題について理解し,説明できる。 | 地震動などの波動問題について理 解できる。 | | 地震動などの波動問題についての 理解が困難である。 | | |
| 評価項目4 | | | 地震時における構造物の応答解析 について理解し,説明できる。 | 地震時における構造物 について理解できる。 | の応答解析 | 地震時における構造物の応答解析 についての理解が困難である。 | | |
| | 到達目標」 | | 関係 | , | | | | |
| | | B1専門(建 | 築学) 創造工学プログラム B1専門(土木 | (工学) | | | | |
| 教育方: | 法等 | | | | | | | |
| 建設構造 概要 振動問題 験や数値 る。 | | 振動問 験や数 | 造物において,地震時における安全性を 題を理解することは,建設系技術者に必 値解析例などを通して,とくに線形系の | 物において,地震時における安全性を確保することは非常に重要である。地震時における構造物の挙動などの を理解することは,建設系技術者に必要な基礎学力の1つである。本講義では,振動・波動問題について,実 解析例などを通して,とくに線形系の振動問題について理論およびその利用について習得することを目的とす | | | | |
| 四类の半 | | 毎回授 | 験を実施する。 業外学修時間に相当する分量の予習・復 果の整理・解析などには相当の時間を要 | 習課題を与える。 | | | | |
| 1文条り)世 | め方・方法 | こと。 定期試 | 【評価方法・評価基準】成績の評価基準 験(70%), レポート(30%)として | 『として60点以上を合格。 | はプロセスにこ とする。 | ついての解説を必ず含めて提出する | | |
| 注意点 | | こと。 定期試 レポー 履修の してい | 【評価方法・評価基準】成績の評価基準 | をして60点以上を合格。 評価する。 引する基本的物理関係,構 | 生する。 | | | |
| 主意点 テスト | | こと。 定期試 レポー 履しでい 構造力 | 【評価方法・評価基準】成績の評価基準 験(70%), レポート(30%)として トは, 指定した期日までに提出のこと。 先修条件:物理における力学, 振動に関 ること。 学(C,A), 耐震工学(5C), 建築振動論(5 | をして60点以上を合格。 評価する。 引する基本的物理関係,構 | 生する。 | | | |
| 主意点 テスト | | こと。 定期試 レポー 履しでい 構造力 | 【評価方法・評価基準】成績の評価基準 験(70%), レポート(30%)として トは, 指定した期日までに提出のこと。 先修条件:物理における力学, 振動に関 ること。 学(C,A), 耐震工学(5C), 建築振動論(5 | をして60点以上を合格。 評価する。 引する基本的物理関係,構 | 生する。 | | | |
| ^{注意点} テスト 授業の | | こと。 定期試 レポー 履修てい 構造力 | 【評価方法・評価基準】成績の評価基準 験(70%), レポート(30%)として トは, 指定した期日までに提出のこと。 先修条件:物理における力学, 振動に関 ること。 学(C,A), 耐震工学(5C), 建築振動論(5 | 『として60点以上を合格。 評価する。 引する基本的物理関係,構 | 生する。 | こついての基礎的事柄について理解 | | |
| ^{注意点} テスト 授業の | 属性・履 | こと。 定期試 レポー 履修てい 構造力 | 【評価方法・評価基準】成績の評価基準 験(70%), レポート(30%)として トは, 指定した期日までに提出のこと。 先修条件:物理における力学, 振動に関 ること。 学(C,A), 耐震工学(5C), 建築振動論(5 | を して 60 点以上を合格で評価する。 計する基本的物理関係,権 (A) | 生する。 | こついての基礎的事柄について理解 | | |
| 主意点 テスト 受業の 」 アク・ | 属性・履(ティブラー: | こと。 定期試 レポー 履修のし 構造力 修上の区: | 【評価方法・評価基準】成績の評価基準 験(70%), レポート(30%)として トは, 指定した期日までに提出のこと。 先修条件:物理における力学, 振動に関 ること。 学(C,A), 耐震工学(5C), 建築振動論(5 | を して 60 点以上を合格で評価する。 計する基本的物理関係,権 (A) | 生する。 | こついての基礎的事柄について理解 | | |
| 主意点 テスト 受業の 」 アク・ | 属性・履(ティブラー: | こと。 定期試 レポー 履修てい 構造力 | 【評価方法・評価基準】成績の評価基準 験(70%), レポート(30%)として トは, 指定した期日までに提出のこと。 先修条件:物理における力学, 振動に関 ること。 学(C,A), 耐震工学(5C), 建築振動論(5 | Eとして60点以上を合格。 評価する。 引する基本的物理関係,構 (A) □ 遠隔授業対応 | 生する。 | こついての基礎的事柄について理解 □ 実務経験のある教員による授 | | |
| 主意点 テスト 受業の 」 アク・ | 属性・履(ティブラー: | こと。 定期試 レポー 履修のし 構造力 修上の区: | 【評価方法・評価基準】成績の評価基準験 (70%) , レポート (30%) として トは, 指定した期日までに提出のこと。 先修条件: 物理における力学, 振動に関 ること。 学(C,A), 耐震工学(5C), 建築振動論(5 分 | をして60点以上を合格で評価する。 関する基本的物理関係,権 (A) 図 遠隔授業対応 週ご | とでる。 | こついての基礎的事柄について理解 □ 実務経験のある教員による授 | | |
| 注意点 テスト 受業の 」 アク・ | 属性・履(ティブラー: | に 定期試 レポー 履修のい 構造力 修上の区 ニング | 【評価方法・評価基準】 成績の評価基準 験 (70%) , レポート (30%) として トは, 指定した期日までに提出のこと。 先修条件: 物理における力学, 振動に関 ること。 学(C,A), 耐震工学(5C), 建築振動論(5 分 ☑ ICT 利用 | 型 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠路・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | とする。 き造物の力学に との到達目標 系の振動・波 | こついての基礎的事柄について理解 □ 実務経験のある教員による授動問題について説明できる | | |
| 注意点 テスト 受業の 」 アク・ | 属性・履(ティブラー: | に 定期試 レポ修のい力 修上の区グ ニング 週 1週 2週 3週 | 【評価方法・評価基準】 成績の評価基準験 (70%) , レポート (30%) として トは、指定した期日までに提出のこと。 先修条件: 物理における力学,振動に関 ること。 学(C,A),耐震工学(5C),建築振動論(5 分 | では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | とする。 動造物の力学に との到達目標 系の振動・波 現度線形振動系 は度線形振動系 | こついての基礎的事柄について理解 □ 実務経験のある教員による授 動問題について説明できる 系の理論について理解し説明できる 系の理論について理解し説明できる | | |
| 主意点 テスト 受業の 」 アク・ | 属性・履(ティブラー) | こま期式 レポ修い力 横造 大の区グ シグ り 週 1週 2週 3週 4週 | 【評価方法・評価基準】 成績の評価基準 験 (70%) , レポート (30%) として トは, 指定した期日までに提出のこと。 先修条件: 物理における力学, 振動に関 ること。 学(C,A), 耐震工学(5C), 建築振動論(5 分 図 ICT 利用 授業内容 概説:建設系の振動・波動問題 1自由度線形振動系の理論 | でして60点以上を合格で 評価する。 引する基本的物理関係,構 (A) □ 遠隔授業対応 □ 週ご・ 建設: 1自由 1自由 1自由 | との到達目標 系の振動・波 温度線形振動系 度線形振動系 現度線形振動系 | こついての基礎的事柄について理解 □ 実務経験のある教員による授 動問題について説明できる 系の理論について理解し説明できる 系の理論について理解し説明できる 系の理論について理解し説明できる 系の理論について理解し説明できる | | |
| 注意点 テスト 受業の 」 アク・ | 属性・履(ティブラー: | に 定期式 レポーのい力 修上の区グ コ週 1週 2週 3週 4週 5週 | 【評価方法・評価基準】 成績の評価基準験 (70%) , レポート (30%) として トは、指定した期日までに提出のこと。 先修条件: 物理における力学,振動に関 ること。 学(C,A),耐震工学(5C),建築振動論(5 分 | でして60点以上を合格で 評価する。 引する基本的物理関係,構 (A) □ 遠隔授業対応 □ 週ごしませる。 建設: | との到達目標 にの到達目標 その振動・波 は度線形振動系 は度線形振動系 は度線形振動系 は度線形振動系 | こついての基礎的事柄について理解 □ 実務経験のある教員による授 動問題について説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる | | |
| 主意点 テスト 受業の 」 アク・ | 属性・履(ティブラー) | に 定期式 レポーのい 履じかのい 構造 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 | 【評価方法・評価基準】 成績の評価基準験 (70%) , レポート (30%) としてi トは, 指定した期日までに提出のこと。 先修条件: 物理における力学, 振動に関ること。学(C,A), 耐震工学(5C), 建築振動論(5分) □ ICT 利用 □ ICT 利用 □ ICT 利用 □ ICT 利用 □ I自由度線形振動系の理論 1自由度線形振動系の解析I 1自由度線形振動系の解析I 1自由度線形振動系の解析I 9自由度線形振動系の解析I 多自由度線形振動系の解析I | でして60点以上を合格で 評価する。 引する基本的物理関係,構 (A) □ 遠隔授業対応 □ 週ごしませる。 建設: | との到達目標 にの到達目標 その振動・波 は度線形振動系 は度線形振動系 は度線形振動系 は度線形振動系 | こついての基礎的事柄について理解 □ 実務経験のある教員による授 動問題について説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる | | |
| 主意点 テスト 受業の 」 アク・ | 属性・履(ティブラー) | に 定期式 レポーのいち 横造 上が 個 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 | 【評価方法・評価基準】 成績の評価基準験 (70%) , レポート (30%) としてi トは, 指定した期日までに提出のこと。 先修条件: 物理における力学, 振動に関ること。 学(C,A), 耐震工学(5C), 建築振動論(5 分 | Eとして60点以上を合格の 評価する。 まする基本的物理関係, 権 (A) □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ は自由 □ 1自由 □ 2自由 □ 3自由 □ 3自由 | との到達目標 その振動・波 相度線形振動系 相度線形振動系 由度線形振動系 由度線形振動系 | □ 実務経験のある教員による授 動問題について説明できる 系の理論について理解し説明できる 系の理論について理解し説明できる 系の理論について理解し説明できる 系の理論について理解し説明できる 系の理論について理解し説明できる 系の理論について理解し説明できる 系の理論について理解し説明できる | | |
| 主意点 テスト 受業の フク・ 受業計 | 属性・履(ティブラー) | に 定期式 レポーのい 履じかのい 構造 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 | 【評価方法・評価基準】 成績の評価基準験 (70%) , レポート (30%) としてi トは, 指定した期日までに提出のこと。 先修条件: 物理における力学, 振動に関ること。学(C,A), 耐震工学(5C), 建築振動論(5分) □ ICT 利用 □ ICT 利用 □ ICT 利用 □ ICT 利用 □ I自由度線形振動系の理論 1自由度線形振動系の解析I 1自由度線形振動系の解析I 1自由度線形振動系の解析I 9自由度線形振動系の解析I 多自由度線形振動系の解析I | Eとして60点以上を合格の 評価する。 引する基本的物理関係, 相 (A) ☑ 遠隔授業対応 週ごの 建設: 1自由 1自由 1自由 9自に 9自に | とする。 動造物の力学に 動き目標 系の振動・波 自度線形振動系 自度線形振動系 自度線形振動系 自度線形振動系 自度線形振動系 自度線形振動系 自度線形振動系 自度線形振動系 自度線形振動系 自度線形振動系 | □ 実務経験のある教員による授動問題について理解し説明できる ※の理論について説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる | | |
| 主意点 テスト 受業の フク・ 受業計 | 属性・履(ティブラー) | に 定期式 レポーのいち 横造 上が 個 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 | 【評価方法・評価基準】 成績の評価基準験 (70%) , レポート (30%) としてi トは, 指定した期日までに提出のこと。 | Eとして60点以上を合格の 評価する。 引する基本的物理関係, 権 (A) □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ は自由 □ 1自由 □ 1自由 □ 2自由 □ 3自由 □ 3自由 □ 3自由 □ 3自由 □ 3自日 | 上の到達目標系の振動・波度線形振動系度線形振動系由度線形振動を由度線形振動を由度線形振動を対しています。 | □ 実務経験のある教員による授動問題について理解し説明できる ※の理論について説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる | | |
| 注意点 テスト 受業の フク・ 受業計 | 属性・履(ティブラー) | に 定期試 レポーのい 関しても力 修上の区 当週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 | 【評価方法・評価基準】 成績の評価基準験 (70%) , レポート (30%) としてi トは, 指定した期日までに提出のこと。 た修条件: 物理における力学, 振動に関ること。 学(C,A), 耐震工学(5C), 建築振動論(5分) □ ICT 利用 □ ICT N □ ICT | Eとして60点以上を合格の 評価する。 引する基本的物理関係,構 (A) □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ は日 □ 1自日 □ 1自日 □ 3自日 □ 多自日 □ 多自日 □ 多自日 □ 3自日 □ 3日 □ 4日 □ 3日 □ | 上の到達目標 の到達目標 の振動・波 速線形振動系 由度線形振動 由度線形振動 由度線形振動 由度線形振動 由度線形振動 由度線形振動 とは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 を | □ 実務経験のある教員による授動問題について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 理論について理解し説明できる。 理論について理解し説明できる。 理論について理解し説明できる。 理論について理解し説明できる。 | | |
| 主意点 テスト 受業の フク・ 受業計 | 属性・履(ティブラー) | に 定期試 レポーの を上の区: 満造力 修上の区: 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 | 【評価方法・評価基準】 成績の評価基準験 (70%) , レポート (30%) としてi トは, 指定した期日までに提出のこと。 た修条件: 物理におけるカ学, 振動に関ること。 学(C,A), 耐震工学(5C), 建築振動論(5分) ② ICT 利用 ② i自由度線形振動系の理論 1自由度線形振動系の解析I 1自由度線形振動系の解析I 1自由度線形振動系の解析II 多自由度線形振動系の解析II 多自由度線形振動系の解析II 多自由度線形振動系の解析II 多自由度線形振動系の解析II 多自由度線形振動系の解析II の自力度線形振動系の解析III の自力度線形振動系の解析III | Eとして60点以上を合格の 評価する。 引する基本的物理関係,構 (A) □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ は日 □ 1自日 □ 1自日 □ 3自日 □ 多自日 □ 多自日 □ 多自日 □ 3自日 □ 3日 □ 4日 □ 3日 □ | 上の到達目標 の振動・動 相度線形振動 相度線形振動 相度線形振動 相度線形振動 由度線形振動 由度線形振動 力曲度線形振動 力曲で振動の をに関する波 | □ 実務経験のある教員による授動問題について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 理論について理解し説明できる。 理論について理解し説明できる。 理論について理解し説明できる。 理論について理解し説明できる。 | | |
| 注意点 テスト 受業の フク・ 受業計 | 属性・履作 ティブラー <u>-</u> 画 1stQ | に に に に に に に に に に に に に に | 【評価方法・評価基準】 成績の評価基準験 (70%) , レポート (30%) として トは、指定した期日までに提出のこと。 先修条件:物理における力学,振動に関ること。 学(C,A),耐震工学(5C),建築振動論(5 分 | Eとして60点以上を合格の 評価する。 引する基本的物理関係,構 (A) □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ はり。 □ はり。 □ はり。 □ 地盤: □ 平面。 でき | 上の到達目標 の到達目標 の振動・波 速線形振動系 由度線形振動 由度線形振動 由度線形振動 由度線形振動 由度線形振動 由度線形振動 也度線形振動 とに行る波の ではいる。 ではいる。 ではいる。 | □ 実務経験のある教員による授動問題について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 理論について理解し説明できる。 理論について理解し説明できる。 理論について理解し説明できる。 理論について理解し説明できる。 | | |
| 主意点 テスト 受業の フク・ 受業計 | 属性・履(ティブラー) | に 定期式 レポーの に対し、 にがし、 にが、 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがし | (評価方法・評価基準) 成績の評価基準験 (70%) , レポート (30%) としてi トは, 指定した期日までに提出のこと。 た修条件: 物理におけるカ学, 振動に関ること。学(C,A), 耐震工学(5C), 建築振動論(5分) ② ICT 利用 授業内容 概説:建設系の振動・波動問題 1自由度線形振動系の理論 1自由度線形振動系の解析I 1自由度線形振動系の解析II 多自由度線形振動系の解析II 多自由度線形振動系の解析II 多自由度線形振動系の解析II 多自由度線形振動系の解析II 多自由度線形振動系の解析II 多自由度線形振動系の解析II 多自由度線形振動系の解析II とりの曲で振動 地盤を伝わる波 平面波に関する波動方程式 | Eとして60点以上を合格な 評価する。 まする基本的物理関係,構 (A) 図 遠隔授業対応 週ご。 建設: 1自由 1自由 9自i 9自i 9自i はりの 地盤: できる。 | 上の到達目標 上の到達目標 系の振形振動系 相度線形振動系 相度線形振動 由度線形振動 由度線形振動 由度線形振動 力曲である。 を伝わる。 をに関するる。 フトル解析の | □ 実務経験のある教員による授動問題について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる 理論について理解し説明できる 理論について理解し説明できる 理論について理解し説明できる 理論について理解し説明できる | | |
| 主意点 テスト 受業の フク・ 受業計 | 属性・履作 ティブラー <u>-</u> 画 1stQ | に 定期式 レポーのい 履したのい 構造 シグ 過 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 12週 | 【評価方法・評価基準】 成績の評価基準験 (70%) , レポート (30%) として トは、指定した期日までに提出のこと。 先修条件:物理における力学,振動に関ること。 学(C,A),耐震工学(5C),建築振動論(5 分 | Eとして60点以上を合格な 評価する。 まする基本的物理関係, 権 (A) □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ はりは 1自由 1自由 1自由 1自由 1自由 1自由 1自由 1自由 | との到達目標 の別達目標 の振形振動系 は度線形振動系 は度線形振動 は度線形振動の は度線形振動の はでしている。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | □ 実務経験のある教員による授助問題について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 ※の理論について理解し説明できる。 を理論について理解し説明できる。 を関いて理解し説明できる。 を関いて理解し説明できる。 を関いて理解し説明できる。 を関いて理解し説明できる。 を関いて理解し説明できる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | |
| 主意点 テスト 受業の ②業計 | 属性・履作 ティブラー <u>-</u> 画 1stQ | に 定期式 に に に に に に に に に に に に に | 【評価方法・評価基準】 成績の評価基準験 (70%) , レポート (30%) として トは、指定した期日までに提出のこと。 先修条件:物理における力学,振動に関ること。 学(C,A),耐震工学(5C),建築振動論(5 分 | Eとして60点以上を合格な 評価する。 まする基本的物理関係, 権 (A) □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ はりは 1自由 1自由 1自由 1自由 1自由 1自由 1自由 1自由 | との到達目標 の別達目標 の振形振動系 は度線形振動系 は度線形振動 は度線形振動の は度線形振動の はでしている。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | □ 実務経験のある教員による授 □ 実務経験のある教員による授 動問題について説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる 理論について理解し説明できる 理論について理解し説明できる 理論について理解し説明できる 地について理解し説明できる ルについて理解し説明できる | | |
| 主意点 アメディア・アンドラー 受業計 | 属性・履f ティブラー 画 1stQ 2ndQ | に 定期 に に に に に に に に に に に に に | 【評価方法・評価基準】 成績の評価基準験 (70%) , レポート (30%) としてi トは, 指定した期日までに提出のこと。 | Eとして60点以上を合格な 評価する。 まする基本的物理関係, 権 (A) □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ はりは 1自由 1自由 1自由 1自由 1自由 1自由 1自由 1自由 | との到達目標 の別達目標 の振形振動系 は度線形振動系 は度線形振動 は度線形振動の は度線形振動の はでしている。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | □ 実務経験のある教員による授 □ 実務経験のある教員による授 動問題について説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる 理論について理解し説明できる 理論について理解し説明できる 理論について理解し説明できる 地について理解し説明できる ルについて理解し説明できる | | |
| 主意点 ア受業 アクラー デア | 属性・履f ティブラー 画 1stQ 2ndQ | に 定期 に に に に に に に に に に に に に | (評価方法・評価基準) 成績の評価基準験 (70%) , レポート (30%) としてi | Eとして60点以上を合格な評価する。 対する基本的物理関係,構 (A) 図 遠隔授業対応 週ごの 建設: 1自由 1自由 9自に 多自に タ自に はりの 地盤: 平できる 、スペー・地震 ・地震 ・地震 | との到達目標 の別達目標 の振形振動系 は度線形振動系 は度線形振動 は度線形振動の は度線形振動の はでしている。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | □ 実務経験のある教員による授動問題について理解し説明できる。 ○ 実務経験のある教員による授動問題について理解し説明できる。 ○ の理論について理解し説明できる。 ○ の理論について理解し説明できる。 ○ の理論について理解し説明できる。 ○ 不理論について理解し説明できる。 ○ の理論について理解し説明できる。 ○ の理論について理解し説明できる。 ○ 理論について理解し説明できる。 ○ 理論について理解し説明できる。 ○ 理論について理解し説明できる。 ○ 理論について理解し説明できる。 ○ 世論について理解し説明できる。 ○ 世論について理解し説明できる。 ○ 世論について理解し説明できる。 ○ 世論について理解し説明できる。 ○ したっいて理解し説明できる。 ○ したっして理解し説明できる。 ○ したっしいでは、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | |
| 主意 | 属性・履作 ティブラー: 画 1stQ 2ndQ | に 定期 に に に に に に に に に に に に に | (評価方法・評価基準) 成績の評価基準験 (70%) , レポート (30%) としてi | Eとして60点以上を合格な評価する。 対する基本的物理関係,構 (A) 図 遠隔授業対応 週ごの 建設: 1自由 1自由 9自に 多自に タ自に はりの 地盤: 平できる 、スペー・地震 ・地震 ・地震 | との到達目標 の別達目標 の振形振動系 は度線形振動系 は度線形振動 は度線形振動の は度線形振動の はでしている。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | □ 実務経験のある教員による授 □ 実務経験のある教員による授 動問題について説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる ※の理論について理解し説明できる 理論について理解し説明できる 理論について理解し説明できる 理論について理解し説明できる 理論について理解し説明できる 理論について理解し説明できる | | |
| 主意 | 属性・履作 ティブラー: 画 1stQ 2ndQ | に 定期 に に に に に に に に に に に に に | (評価方法・評価基準) 成績の評価基準験 (70%) , レポート (30%) として トは、指定した期日までに提出のこと。 先修条件: 物理における力学,振動に関ること。 学(C,A), 耐震工学(5C), 建築振動論(5 分 | で で で で で で で で で で で で で で で で で で で | との到達目標 の別達目標 の振形振動系 は度線形振動系 は度線形振動 は度線形振動の は度線形振動の はでしている。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | □ 実務経験のある教員による授業 動問題について説明できる ※ の理論について理解し説明できる ※ の理論について理解し説明できる ※ の理論について理解し説明できる ※ の理論について理解し説明できる ※ の理論について理解し説明できる ※ の理論について理解し説明できる ※ の理論について理解し説明できる ※ の理論について理解し説明できる 理論について理解し説明できる 理論について理解し説明できる 理論について理解し説明できる 理論について理解し説明できる 理論について理解し説明できる 地について理解し説明できる 地について理解し説明できる ルについて理解し説明できる ・ルについて理解し説明できる ・ルについて理解し説明できる ・ルについて理解し説明できる ・ルについて理解し説明できる ・ルについて理解し説明できる ・ルについて理解し説明できる ・ルについて理解し説明できる ・ルについて理解し説明できる ・ルについて理解し説明できる ・ルについて理解しまな ・ルについて理解しまな ・ルについて理解しまな ・ルについて理解しまな ・ルについて理解しまな ・ルについて理解しまな ・ルについて理解しまな ・ルについて理解しまな ・ルできる ・ルでする ・ルで | | |
| 注意点 テストの 受業計 前期 | 属性・履(ティブラー: 画 1stQ 2ndQ | に 定期 に に に に に に に に に に に に に | (評価方法・評価基準) 成績の評価基準験 (70%) , レポート (30%) としてi | Eとして60点以上を合格な評価する。 対する基本的物理関係,構 (A) 図 遠隔授業対応 週ごの 建設: 1自由 1自由 9自に 多自に タ自に はりの 地盤: 平できる 、スペー・地震 ・地震 ・地震 | との到達目標 の別達目標 の振形振動系 は度線形振動系 は度線形振動 は度線形振動の は度線形振動の はでしている。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 | □ 実務経験のある教員による授い 動問題について説明できる 孫の理論について理解し説明できる 孫の理論について理解し説明できる 孫の理論について理解し説明できる 系の理論について理解し説明できる 系の理論について理解し説明できる 系の理論について理解し説明できる 系の理論について理解し説明できる 系の理論について理解し説明できる 理論について理解し説明できる 理論について理解し説明できる 理論について理解し説明できる 理論について理解し説明できる 理論について理解し説明できる 地について理解し説明できる ルについて理解し説明できる ルについて理解し説明できる ルについて理解し説明できる ルについて理解し説明できる ルについて理解し説明できる ルについて理解し説明できる ルについて理解し説明できる | | |

| 専門的能力 | 70 | 30 | 100 |
|---------|----|----|-----|
| 分野横断的能力 | 0 | 0 | 0 |